

ました。然しまだ何とも決心がつきませぬ。私はトラホームの爲めに米国の官憲が入国を禁止しないかと恐れて居ます。入国を禁止する国に行か無くとも善いとも考へます。まだ決定的に返事を出して居りませぬ。然し米國学生の義勇的精神には共鳴します。ただ米國宣教師の日本に於ける生活は内地の牧師同様に下げると、もう少し感化が多い事と思ひます。勿論、英國宣教師の中には日本の神学生と同じ寄宿舎に生活して居られる方もあり、私をして感心させてくれるのですが、米國宣教師の中には感心しない人が随分多くあります。日本に於ける宣教師の感化力は段々狭くなりつゝあるかと私は思ひます。之は一面宣教師に感謝せねばならぬと共に、今後の運動方針に就ては深く考へる必要があらうと思ひます。

△教会生活も、今のやうな姿では困つたものです、何回繰返しても駄目ですが、共済組合の一つさへ造り得ない哀れな姿に私は全く個人主義の浸潤の余毒があまり甚しいと驚いてゐます。

△神は愛たなど云ふても神の愛を實現しない愛は何の力がありませうぞ。

△近頃著された柳宗悦氏の「神に就て」は静かな美しい書だと思ひます。殊に終りの方には祈りの心持ちで読まれる美しい文字の並んで居るのを誠にうれしく思ひました。

△イザヤ書を近頃読み返し、偉大な詩にうたれると共に、その書に現れた自然の姿の美しいのに驚きました。

△不景氣になつたものですから、私共を頼寄つて各府県から来られる方の多いに驚いて居ます。私は不景氣が如何に國民の生活を脅かして居るかを事務所の一階に座つて居てすぐ知ることが出来ま

す。然し、貧しい方々をお世話するだけにさへ會計が回らなくて困つて居りますのに、他府県から来られる方を御世話することはとても出来ないのです、お氣の毒ですがいつも失望させて居ることを残念に思ひます。私は自分一人の小さい手で心尽しの奉仕をするつもりです。

△東京のイエスの友の方々の御熱心な御尽力に依りイエス友の会夏期祈禱会が御殿場に開かれることになると思ひます。それを祈つて居ります。毎年開きたいものです。

△私共の祈は世界をつゝまねばなりません。私共の祈は世界的でなければなりません。

△イエス団の名の理由を聞かれる人があります。それはロマ旧教の改造を試みたロモラやザビエーの団体を「イエスイット」と云つたことから思ひ付いたものであります。「イエスの友」は一昨年奈良で牧師達の間で最初イエスの友の生れた時に伏見の吉田源治郎氏のつけられた名であります。(大正十二年八月号「長屋の南京虫」)

九月 △御殿場東山荘の夏期修養会は、早や輝かしい思ひ出

となつて了つた。私は兄弟姉妹達の熱心な心持と美しい友情に励まされて、うれしい五日間を送つた。そのことを此処で深く感謝いたします。

△殊に東京の連中の奉仕的態度にはほんとに励まされもし、うれしくもあつた。馬淵兄を始め三人組の吉本さん、細井さん、加藤さんなどはほんとに一生懸命であつた。関西に帰つて来たものは皆喜んで居た。

△来年も是非あゝ云つたものを何処かで開いてもらひたいもので

ある。婦人矯風会は婦人に傾き、青年会は青年に限られ、共勵会だが稍、一般的ではあるものの、日本に於ける共勵会は改造的精神を全然欠いてゐる。我等は新しい意味で越宗派、越民族、越階級、越年齢、越性別の団結運動をせねばならぬ。

△今度のイエスの友の修養会で嬉しく思つたことは、イエスの友には兎に角貧しい者の友の多いことであつた。

△東京の水上児童の教育の爲めに献身的に努力して居られる輝く顔の持主である伊藤伝氏がその一人、東京根岸の貧兒の爲めに努力して居られる有隣団に働いて居られる山口菊太郎氏が他の一人、東京下谷万年町の貧民窟附近に神栄教会を設けそれを助けて日曜学校に努力して居る吉本健子さん等の三人組、その主任者の後藤文蔵君も見えて居た。婦人矯風会のホームに働いて居られる婦人も見えてゐた。東京新宿貧民窟にある二葉幼稚園に働いて居られる柳さんも見えてゐた。それで東京の古い貧民窟改良書案に関係あるものは凡て代表せられてゐたわけである。之に日暮里の愛隣団と、本所方面の方々が見えると、キリスト教的セトルメント、ウオークの研究団が組織出来るのであつた。その他福岡市から來られた元氣な八幡鷺城氏は出獄人保護の爲めに一生懸命であるし、工場関係の人々も多くあり、純粹労働者の方も四、五名賞加せられた。教育家も六、七名あり、北海道の婦省地からわざわざ來られた方もあり各種の階級を代表し実に愉快であつた。将来に於てイエスの友が各分科を持ち、年一度の大会に於て労働者伝道部、貧民窟改良部、労働組合部、消費組合部、共済組合部、出獄者保護部、禁毒運動部、農民組合部、社会衛生部、病人看護部、社会教育部、国際部と云つたやうなもの

を持つやうになり、イエスの友がヨブに対する神の忠告の如く「腰をひつからげて丈夫の如く」簡素なるいで立にて仕事をして、一年一度の修養祈禱会に共に祈ることが出来るやうになれば、どんなに幸福か知れないと思ひます。

△此度の修養祈禱会に、村島婦之氏が日本に於ける婦人労働問題の實際と、公娼及密娼問題の實際を詳しく報告せられたので、皆それに就て心を併せて祈つた。かうした實際問題を明示せられて、それに就て祈ることが出来ることはイエスの友の特権である。

△有島君が倒れ、武者小路君が脱線し、所謂人道主義作家が悲惨なる最後を遂げつゝあることは悲しむべきことである。それと云ふのもみなイエスを外側に置き、イエスを自己に所有しなかつた人達であつたからである。我達はイエスを内側に所有せねばならぬと思ふ。

△御殿場へは妻と純基と三人で行きましたが、新川へのお土産は純基の顔色の美くなつたことでありました。

△子供が産れてから、性愛以上に美しいもう一つの尊い世界が附加されたやうです。元來私は子供がすきでしたが自分の子供が産れると共に「神の表現」と云ふ意味がよくわかつて來ました。性愛以上に尊い世界があり、性愛以上に深い歡喜のあることをつくづく思はれます。
(大正十二年十一月号「トタン屋根の下より」)

十月

△震災後の救済運動に従事してゐて、悲しいのは、所謂教会とそのものの無能なことです。西洋の教会はもう少し力がある。日本では労働組合だけの力さへ持つて居らないのは驚いて了ふ。神戸の海員組合は僅かに数千の会員しか持た無い